

鯖江市の魅力をPRしてきました！

明治大学ホームカミングデーに参加 ～鯖江市との連携事業～

10月23日(日)、鯖江市と連携協定を結んでいる明治大学のイベント「明治大学ホームカミングデー」に、鯖江市の職員とともに、本校の女子生徒4名が参加し、鯖江市の物産の紹介やPRをしてきました。明治大学は創設者の3名のうちの一人が鯖江市出身ということで、明治大学とはゆかりがあり、鯖江市と明治大学は連携協定を結んでいます。明治大学ホームカミングデーは、年に一度、卒業生を明治大学に迎えるイベントであり、コロナの影響で3年ぶりとなった今回のイベントには、他の創設者の出身地の天童市、鳥取県とともに地元の物産などを展示するブースを出展しました。本校の生徒も、鯖江市の職員に同行し、鯖江市の魅力を精一杯PRしてきました。



初めてのPR活動！



生徒たちは、このようなイベントに参加することは初めてであり、戸惑いもあったようですが、準備の段階から自分たちのできることを考え、積極的に取り組んでいました。PR活動をしていくうちに様々なことに気づいていったようで、どのようにしたらうまくPRや接客ができるかなど考えながら活動をしていきました。たとえば、相手の目をみて話すことの大切さ、それぞれの年齢層にあわせて興味を持ってもらうようにすること、各物産品の情報をしっかりと知った上でPRする必要性など、身をもって経験することができたようでした。また、県外の人たちと直接話をする中で、鯖江市に対するイメージや印象などを知ることができたことも大きな収穫だったようです。

この経験を活かして

今回の活動を通して、様々なことに気づき、多くのことがわかったようで、次のような感想を残していました。

- ・PRするには、まず自分が聞いてほしいと思い、話しかけるといことに気づき、心がけました。
- ・初めて県外の大学に行って、その大きさや人の多さなど、規模の違いに驚きました。また東京は電車が多く、福井と違って便利だと感じました。
- ・今まで何かを紹介したり、人前に立って声をかけたりするという機会がなかったので、とても良い経験ができました。
- ・市の職員や担任の先生は、自分の持っている情報だけで商品をPRしていたのですごいと思いました。

これらの経験を活かして、受験や探究活動、部活動など、これからの様々な活動につなげていってくれることを期待しています。

今回の行事に参加させていただき、鯖江市の職員をはじめ、関係の方々に心より感謝いたします。

